
彼女

ゲルニカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女

【著者名】

【ゲルニカ】
彼女

N6716C

【あらすじ】

「彼女」が主にメインです読んでくれたら幸いです

(前書き)

世界中を覗きたい

「彼女」

白い指

綺麗な髪

健やかな心

笑顔が素敵

全てが暖かい存在の彼女

安らかに眠る彼女

最後まで笑顔だった彼女

消えてゆく

面影が身体が

塵になり骨だけ残る

その過程をみんなは見守る

それはそれは

悲しい出来事

何て美しい出来事

僕が涙の海を作つても

僕の涙で世界を覆つても

けして生き返らない

世界で一番いとおしい彼女

「死神」

壊れゆく我が魂

襲いかかる孤独

長い長い一本橋

すれ違う願い

手に採れば

崩れ落ちる砂時計

ああ何て美しい満月の夜だ
血が煮えたぎる

右脳と左脳をえぐりだして
眼球を取り出せば
悲しい人形の完成だ
病み付きの快感だ
壊れゆく我が魂

左手に鎌を携えて死神となり
誰にもきずかれぬように
誰にも触れぬように

今日も人形を探してる
精神異常者の何て悲しい死神
ああ悲しい悲しい

何て悲しい死神だ

感情なんて無くした喋ることも無くした

あるのは孤独だけ
残るのは悲しみだけ

今日も人形を探してる

本当は寂しい死神

ああ寂しい寂しい

なんて可哀想な死神

優しさなんて知らない

愛なんて知らない

ただ暴走しているそう

身体が勝手に動くそう

自分の意思とは

関係なしに

誰かに操られているそつ

今日も人形を探してる

本当は泣き虫な死神

ああ泣いている

心の中で泣いている

哀れな死神

永遠に眠る時は
どうか安らかに

「眠れない夜」

眠れない夜は

月に続く階段を

ゆつたりと登つてゆく

心地よい風が吹いた

風を感じてる

これが生きる事なんだ
大好きなあの娘を

思いながら

月に続く階段を

ゆつたりと登つてゆく

星がとてつもなく

輝いてる

月の子守唄を聴きながら

僕は深い眠りについた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6716c/>

彼女

2011年1月27日01時54分発行